

## 3 学年別授業日数及び授業時数の配当

## (1) 年間授業日数配当表

年月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	17	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	17	198
2	18	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	17	199
3	18	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	17	199
4	18	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	17	199
5	18	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	17	199
6	18	18	23	13	0	19	20	19	19	15	18	18	200
備考	<p>○10月24日(土)は運動会のため授業日とし、10月26日(月)を振替休業日とする。          ○11月28日(土)は音楽会のため授業日とし、11月30日(月)を振替休業日とする。          ○6月27日(土)、2月20日(土)に土曜授業を実施するため2日増となる。          ○1年生は、4月6日(月)の始業式に参加しないため1日減となる。          ○1～5年生は、3月25日(木)の卒業式に参加しないため1日減となる。</p>												

## (2) 各教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動の年間必要授業時数配当表

各教科等\学年	1	2	3	4	5	6	
各教科	国語	306	315	245	245	175	175
	社会			70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭					60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
外国語					70	70	
特別の教科 道徳	34	35	35	35	35	35	
外国語活動			35	35			
総合的な学習の時間			70	70	70	70	
特別活動(学級活動)	34	35	35	35	35	35	
総計	850	910	980	1015	1015	1015	
備 考							
<p>○1単位時間を45分間とする。          ○時間割りの工夫          ・各教科の授業時数を確保するために、固定時間割の1時間の中に1週間の授業時数が割りきれない教科を2つ組み込み、割り当てた時間を実施する。          ・1、2年生の英語に親しむ活動を11時間実施し、余剰時数を充てる。          ・全学年の国語科のうち35単位時間程度を短時間学習に充て、1週間で1単位時間程度実施し、35単位時間に満たない場合は通常の時間や余剰の中で学習する。</p>							

備	考
○短時間学習	
①教科：国語	②毎週 月・火・木曜日 昼休み及び清掃後に実施する。
③担任が指導し評価する。	④新出漢字の理解と習熟を中心とする。
○月・火・木曜日はA時程、水・金・土曜日はB時程とし、B時程の日は授業開始時刻を繰り上げ、午前中に5単位時間の授業を行う。そのことにより、会議や分掌業務を行う時間を確保する。	
○総合的な学習の時間	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で、教科横断的な学校独自のプログラムに基づいて探究的な学習に取り組む時間を設定し、地域を愛し、地域の未来を創造する子どもを育てる。</li> <li>・第3学年は、近隣の大使館等と連携した学習等を通して、総合的な学習の時間の学習方法を身に付け、自ら課題を見付け解決に向けて探究する態度と、情報をまとめ、表現する力を育成する。</li> <li>・第4学年は、福祉体験や人とのふれあいなどを通して、人権や共生社会に対する理解を深め、自分たちにできることを考える力を高める。</li> <li>・第5学年は、孀恋自然体験交流教室を通して自然や環境に対する理解を深め、身の周りの環境をよりよくしていこうとする力を育成する。</li> <li>・第6学年は、日光移動教室を通して自然や歴史に対する理解を深め、教科と関連付けて論理的思考力や公共の精神を育む。</li> </ul>	
○特色ある教育活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等横断的な視点からカリキュラム・マネジメントを行い、探究的な学びを通して児童の思考力・判断力・表現力を育み、他者と協働して課題解決を図る力を養う。オンライン等のICT環境を活用し、小笠原小学校の子どもたちと交流しながら共に学び、探究的な学習を推進する。</li> <li>・自国の文化を尊重し、豊かな国際感覚を身に付けるために、第1学年で昔遊び、第2学年で麴町囃子・獅子舞の鑑賞、第3学年を中心に全学年で地域の大使館等と連携した国際交流、第4学年で東京染小紋体験を行う。</li> <li>・児童が運動に親しみ、楽しんで体を動かす習慣を身に付け体力を向上できるように、体力向上月間を設定し、1月になわとびチャレンジ、2月に持久走記録会を行う。また、5年生を中心に、全学年でコーディネーショントレーニングを推進する。</li> <li>・全学年の体育の授業や保健指導を通して、養護教諭等の専門職と連携した健康教育を推進する。また、学校給食において食の安全を徹底するとともに、食育の充実を図る。6年生の保健「病気の予防」の授業で、外部講師を招聘してがん教育を行う。</li> <li>・第4学年でパラスポーツやアイマスク・車いす体験等を通して、障害のある方への理解を深めるとともに、福祉に関する関心を高め、人権教育の充実を図る。</li> </ul>	
○クラブ活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4、5、6年生の児童によるクラブ活動を毎月1回木曜日の6校時に設定し、年間9回行う。</li> </ul>	
○児童会活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5、6年生の児童による委員会活動及び4年生以上の児童で構成する代表委員会の活動について、1単位45分の時間を毎月1回木曜日の6校時に設定し、年間11回行う。</li> </ul>	
○校内研究	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科・総合的な学習の時間を中心とした、教科横断的な学校独自のプログラムを開発し、探究的な学習について研究を進める。各学年で研究授業を行う。</li> </ul>	
○自殺予防教育	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SOSの出し方に関する指導を実施し、ストレスへの対処方法を理解できるようにする。道徳科や学級活動において、生命の大切さを実感できるような授業を工夫する。</li> </ul>	